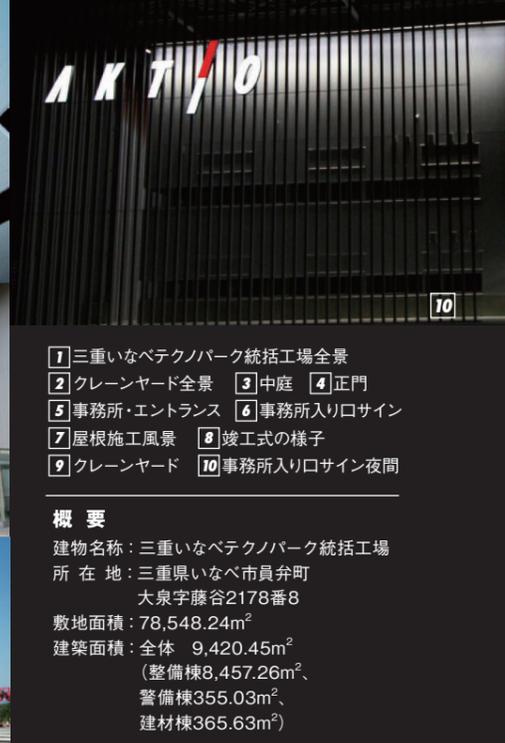


AKTIO

特別
企画

三重いなべテクノパーク統括工場 完成! No.4





- 1 三重いなベテクノパーク統括工場全景
- 2 クレーンヤード全景
- 3 中庭
- 4 正門
- 5 事務所・エントランス
- 6 事務所入り口サイン
- 7 屋根施工風景
- 8 竣工式の様子
- 9 クレーンヤード
- 10 事務所入り口サイン夜間

概要
 建物名称：三重いなベテクノパーク統括工場
 所在地：三重県いなべ市員弁町 大泉字藤谷2178番8
 敷地面積：78,548.24m²
 建築面積：全体 9,420.45m²
 (整備棟8,457.26m²、
 警備棟355.03m²、
 建材棟365.63m²)

特別企画 三重いなベテクノパーク 統括工場 完成!

4月10日、三重県いなべ市に佐野、千葉に続く3ヶ所目のテクノパーク工場となる、三重いなベテクノパーク統括工場が誕生しました。
 今回はこれからの50年を創出する拠点を目指す三重いなベテクノパーク統括工場についてご紹介します。

アクティオ最大規模の工場

三重いなベテクノパーク統括工場は、着工から約1年を経て完成し、東海と西日本の整備拠点として、全国約50の工場の中で、最大規模の工場となりました。本工場は、敷地面積78,548.24m²（東京ドーム1.6個分）、建築面積9,420.45m²であり、海拔90mに位置しています。

いなべ市に進出を決めたのは、“地震などの有事の際に機動性が求められる中、東海3県の中心的位置にあり、高速道路などの交通基盤が整っている”ことがあったためです。

本工場は災害ならびに防災対策の機械・機材供給基地としてのBCP機能に非常に優れており、自家給油所や非常用電源供給などインフラ供給が停止しても、工場機能が停止しない設備を兼ね備えています。

※BCP……Business Continuity Planの略。事業継続計画。災害発生時に短期間で重要な機能を再開し、事業を継続するための準備をしておく対応方針。

これからの50年を創出する 拠点工場

本工場は、S（安全）、Q（品質）、C（コスト）、D（納期）、E（環境）の5つの向上をコンセプトに掲げています。

整備ライン動線の工夫や省力化による生産効率の高い工場であることに加え、お客様へのレンタル機械活用方法の実演や模擬現場スペース等の提供、PB商品の試験スペース設置など、より質の高いレンタルティンク®を実践する拠点、実習可能スペースや研修施設を設け、資格取得推進等の人材教育ができる拠点、震災ならびに防災対策の機械・機材供給基地として、万が一インフラ供給が停止しても工場機能は停止しない防災拠点、地域の雇用促進、工場見学等によりレンタル業の認知広報活動を実施し、地域社会と共存共栄することができる工場施設となります。

また、本工場の特徴として5つのポイントを紹介します。

- ① 自然光の取り込み……光を拡散する材料を用い、高さに変化のある開口部から自然光が柔らかく均質に整備場



- へ注ぎ込みます。
- ② 空気の流れと上手につき合う……その時々で、風と親しみ、風を遮断し、時には風を創る仕組みを作りました。
- ③ リズムや変化で作業効率の向上……思い立ったら即行動、走りながら考える。常に変化し続けるアクティオらしいデザインを工場内・外に表現しました。
- ④ テーマカラーは赤・黒・白……力強く躍動感のある「AKTIO」のロゴとコーポレートカラーを組み合わせ、存在感のあるデザインにしました。
- ⑤ コミュニケーションが次のアクティオを創造する……全ての作業場から見通すことのできる中庭を造り、誰かが

いれば中庭で相談し合えるようなコミュニケーション促進の場を作りました。
 このように自然の力を最大限に取り入れながら、常に変化し続けるアクティオの強みを表現することに加え、社内外の人々とのコミュニケーションスペースを設置し、「もっとこうできないか」「もっとこんなことができればいいのに」というコミュニケーションから新しいアイデアが生まれ、レンタルティンク®へ繋がっていく。次のアクティオを創造する・創出する工場として躍進していきます。
 次ページでは工場内部をご紹介します。

工場内部を大公開!

三重いなベテクノパーク統括工場の内部をご紹介します。

BCP対応

売電専用
500kWソーラーパネル
(工場屋根)

給油所
●軽油保管:16,000L

食堂兼大型会議室
厨房による料理提供
●保存食をストック
●期限時期には防災訓練昼食で活用

工場全体用自家消費
20kWソーラーパネル
(建材整備棟屋根)
●牽引車、リーチフォーク充電
●業務車両リーフ充電
●作業用バッテリー台車充電

効率化への工夫と品質の追求

廃油は一括回収
給油も一括給油のラインを構築

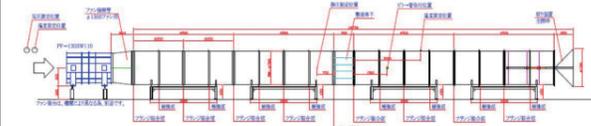
発電機負荷試験室
国内初の屋内負荷試験設備
性能検査
●高温による負荷耐久試験
●騒音試験、排ガス測定

発電機整備ライン化
●エアータン活用により大型発電機で
さえ手押しによる移動でライン化

小物整備と季節商品管理
小物ライン化による流れ作業
●入出庫は工場の張出し屋根10m
で行い整備場を広く取る
●中2階へエレベータ移動による季節
商品管理

水中ポンプ自動塗装ロボット
塗装を自動化することで省人化
●ICタグ情報で塗装ワーク個別認識
が可能

試験装置
大型ファン試験装置
●風圧試験が可能になりメーカーと同等の試験が可能



大型ポンプ実流試験水槽
●4B~10Bまでの実流試験を行い超音波流量計で確認
※佐野テクノパーク工場できなかつた品質試験を実施



アクティオグループ会社紹介

アクティオ台湾

レンサルティング®のグローバル化に向け 日々精進していきます

アクティオ台湾は2010年に設立し、台湾においてシールドマシンや小口径の推進機械及び汎用機械のレンタル・販売を行っています。

台湾は日本の九州と同じ位の面積で、人口2,344万人、1980年代以降は電子工業の発展と共に目覚ましい成長を遂げました。特に日本とは古くから経済面の交流が多く日本の企業や製品が好まれる傾向があり、建設機械の分野でも多くの日本製の新車や中古車が販売されています。また、人口の9割以上を占める漢民族の伝統やアメリカ華僑の影響で起業思想が強く、多数の中小企業が同じ分野で競い合っている点も台湾の特徴であります。建設機械のレンタル分野でも同じく、発電機や高所作業車・バックホーなど、一つの商品に特化した中小レンタル会社が台湾に数多く

点在しています。その中、アクティオ台湾は2010年設立以来、専門性の高いシールドマシンや小口径推進機械を皮切りに、汎用性の高い発電機・コンプレッサ・溶接機・高所作業車・バックホー等の商品も取り扱う総合的なレンタル会社として、アクティオ独自のレンサルティング®に基づいた提案やサービスで、日系企業のみならず台湾現地の企業にも好評を得ています。また、台湾のみならず中国の企業ともタイアップし新商品の開発などにも携わっています。

アクティオ台湾はまだ設立5年目の若い企業ですが、アクティオの長い歴史の中で培われたノウハウを武器に大きなビジョンを持って、アクティオのグローバル化に向け日々精進してまいります。



会社概要
会社名: AKTIO TAIWAN CO., LTD.
本社所在地: 2F., No.42-1, Mingxian St., Sanmin Dist., Kaohsiung City 80794, Taiwan (R.O.C.)
台北事務所: 8F.-1, No.106, Sec. 2, Chang'an E. Rd., Zhongshan Dist., Taipei City 10491, Taiwan (R.O.C.)
TEL: 02-2503-2193
FAX: 02-2508-2760
設立: 2010年
所属従業員数: 10名
営業所数: 4カ所 (本社・営業所・工場)

「(仮称) 東京物流センター」建設に着手

2月25日、東京都江東区新砂にて「(仮称) 東京物流センター」の起工式を行いました。

(仮称) 東京物流センターは、弊社が保有するレンタル機械を一通り取り揃え、鉄道工事など深夜から明け方にかけて行われる工事にも対応できる24時間体制で稼働する最新鋭のサブライセンター（顧客支援センター）となります。2020年の東京オリンピック開催に向けて、建設需要のさらなる増加が予想される東京湾岸地域を中心に、首都圏における物流拠点として迅速に機械をご提供できる工場として2016年春の竣工を目指しています。

(概要) 敷地面積: 14,761m² (4,465坪)
建築面積: 4,673m² (1,413坪)



完成イメージ



起工式の様子

レンタル rental

アクティオ取り扱い新商品

● ツーノズルブラストマシン

商品コード TF4 07520 001

各種鉄製、コンクリート構造物の塗膜剥離、サビ取り、素地調整を行うバキュームブラストマシンです。世界最小連続式タンクの採用により、機械を止めることなく連続運転が可能です。2本のノズルを用いるため、1台で2人同時

作業が可能です。また、粉塵を吸引しながら作業を行うので、作業環境の改善、養生、清掃作業が低減されます。更に、回収した研掃材を繰り返し投射するため、研掃材の節約、産廃量の低減につながります。



● 静電容量式自動排水水中ポンプ

商品コード CD1 05522 / CD1 05532 / CD1 05542

ポンプの自動停止・保護機能やマイコン機能が充実したもので、静電容量式で誤作動がありません。無接点式のため接点焼損がありません。過水時間を短くするため、タイマー運転の電流値変化を把握することで過水状態と判断されると停止します。釜場や大きさに

合わせON/OFF時間が変わります。保護機能が強化され、異常電流値を感知すると運転停止します。5回オートカットが作動すると自動停止し、モーター焼損を防ぎます。
※停止した場合は、電源を一度切って入れ直すと復帰します。



● イベント送風機

商品コード WWN 10751 001

移動式大型冷風扇です。工場、倉庫、畜産施設、観光施設、イベント会場などで使用可能です。水の気化熱によって冷風を出すと同時に、静電気の発生を抑えます。150Lタンク搭載の給水式ですが、水道と直結し自動給水も可能で機械に関する詳細につきましては、最寄の営業所までご確認ください。

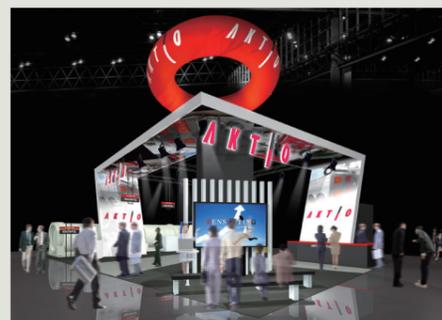
す。排出空気温は、吸気温の-3~-4℃ですがタンクに氷を入れることにより、冷風効果を高めることができます。
性能：電源100V、羽サイズ30インチ、送風有効距離15~20m、消費水量16L/hr (室内)、キャスター付



イベント event

2015NEW環境展「AKTIOブース」出展

2015年5月26日(火)~29日(金)に東京ビックサイト(東京都江東区有明)で開催される2015NEW環境展に今年も出展します。環境問題に対応した様々な商品を取り揃えています。建機レンタルのアクティオが、「より合理的に」「より効率的に」商品をご提供する「レンタルティング®」をこの機会にぜひご体験ください。



ブースデザイン



CSR CSR

全国各工場でAED救命講習会を実施

2014年12月中旬~2015年1月初旬、全国各工場へAED(自動体外式除細動器)を設置し、各工場において救命講習会を実施しました。この講習会でAEDの操作方法に加え、応急処置の手順を身につけました。

今年度入社の新入社員研修でも同様の講習会を実施する予定であり、1人でも多くの社員が操作手順を学ぶことで、社員だけではなく近隣住民の皆様の安全や、通勤時等の「万が一の事態」に備えた体制づくりに努めています。



講習会風景

AED設置風景

CSR CSR

こどもモーターショーにアクティオが協賛

4月4・5日の2日間、東京都江東区青海のMEGA WEB(メガウェブ)にて開催された「第6回こどもモーターショー」へ協賛しました。

はたらく車コーナー(クルマの遊園地)で高所作業車やショベルカー、8輪バギーの展示、試乗を行いました。普段乗ることのできない特殊車両に多くの子供たちが目を輝かせ、お父さん、お母さんと一緒に楽しんでいました。



はたらく車への試乗風景



救命処置 掲示板

応急手当が傷病の悪化を回避するということは皆さんご存知だと思います。ただ、その流れをきちんと把握されている方は意外に少ないかもしれません。ここでは、いざという時のための対応をお伝えします。

誰でも分かる応急手当の流れ

応急手当とは

今回は、応急手当をテーマとして、その手順と、対応方法をご紹介します。まずは、具体的な対応策をお話する前に、「応急手当」の用語の定義について触れていきます。

応急手当とは、一般的な傷病の悪化を回避することを目的として市民により行われる最小限の手当をいいます。救命処置も広義の応急手当においては含まれますが、今回は最低限という意味における狭義の応急手当を中心にご紹介します。

応急手当の流れ

では、用語の定義に触れたところで、次は具体的流れを見ていきます。

苦しんでいる人、痛がっている人、様子がおかしい人を見かけたら、まずは、周囲の安全確認を行います。

次に、その傷病者の反応、呼吸、気道異物の確認を優先します。そして、話しかけや、呼吸状況を見ながら、傷病者がどんな症状なのかを把握します。その後、呼吸・循環の維持のための処置を行います。傷病者に外傷がある場合は、止血、外傷の応急手当も同時に行いましょう。万が一、傷病者がいる場所が危険な場合は、搬送も行う必

要があります。協力者を求めることも考えて対応しましょう。

以上が応急手当の一連の流れです。応急手当の場合、一刻を争うようなことは稀ではありますが、時間とともに悪化すれば生命に関わることも十分に考えられます。何事も迅速な対応が悪化回避の鍵となりますので、流れを頭に入れておきましょう。

応急手当のおおまかな流れ





建設業で何よりも大切な安全作業。実例をもとに、その心をお伝えします。



慎重 堅固さん
職歴30年の大ベテラン。豊富な経験を生かし、安全作業を常に徹底している。



張切 早太さん
社会人2年目の若手。やる気いっぱいだが、ついうっかりが多いのが玉にきず。

行きも帰りも安全運転

解説
小話

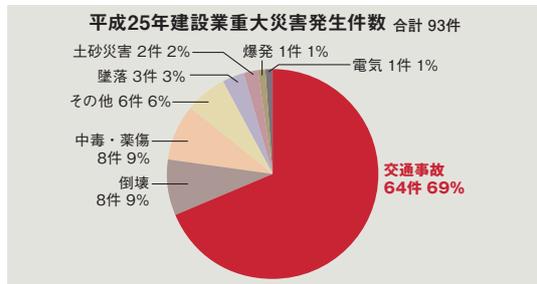
5月11日(月)～20日(水)の10日間、平成27年春の全国交通安全運動が実施されます。最終日の5月20日(水)は「交通事故死ゼロを目指す日」となっています。

建設業では、作業現場内での事故に加え、道路上での交通事故が多く発生しています。

建設業での交通労働災害(交通事故による人身災害で作中に発生したもの)の死者数は、減少傾向にはあるものの、ここ数年は横ばい状態となっています。ここで平成25年の重大災害^{※1}件数を見ると、建設業では、93件中64件、全体の69%が交通労働災害であります。事務所等から工事現場への往復時が多く、自動車に複数名乗車しているため、一旦交通事故が起きると重大災害になることが多いと考えられます。交通労働災害は、建設業で死者数の1割以上を占める労働災害です。厚生労働省が示している「交通労働災害防止のためのガイドライン」(平成25年改訂)等に則った防止対策を実施することが必要です。

厚生労働省が策定した「第12次労働災害防止計画」では、労働災害による死亡者数、死傷者数を平成24年と比較して平成29年度までに15%以上減少させることを目標としています。建設業においては三大災害^{※2}を減少させると共に、交通労働災害を大幅に減少させることが大きな課題となります。

※1……一時に3人以上の労働者が業務上死傷を伴う労働災害
※2……墜落・転落災害、建設機械・クレーン等災害、倒壊・崩壊災害



(厚生労働省「労働災害統計」を元にしています)



編集後記

2015年春夏のトレンドカラーをご存知ですか?今年春夏のメンズトレンドカラーの中にダスクブルーという色があります。男性にとってもブルーは、抗うことのできない魅力的な色、空の色、永遠を意味する色、忠誠心を表現する色など様々な意味があると言われていいます。そんな意味を考えながらこれからの暖かい季節の洋服やワイシャツ、ネクタイなどにクールなダスクブルーを取り入れてみてはいかがでしょうか?

(アクティオ営業企画部 成澤)

表紙の写真について

三重いなベテノパーク統括工場の全景です。P2-4では、本工場の特徴などをご紹介します。ぜひご覧ください。

